夕刊 磐城時報

十七日

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行印刷人 岡[illegible]成
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

平町會議員
選擧人名簿
出來上りました
ポケツト用體裁優美
電話四〇九番へ
御申込下さい
磐城時報社

平町十二年度豫算 四十六萬圓の内容

鎌田遊廓地を賣却 戸數割は平均十八圓

平町十二年度豫算は十七日午後一時から町會議員に内示したが、總額は昨報の如く四十六萬六千八百八十五圓で、その内譯左の如くである。尙ほ編成に關し青沼町長は

十二年度中には第四小學校を建設する方針であつたが埋立に約八ヶ月を要するので建築は十二年度中には不可能なため之を削除した。商業學校も建築は出來ないとしても起債の關係があるので八萬圓を計上した、その他は目新らしいものがない。歳入方面では前年度に比較すると水道の縣費補助七千五百圓と十五町目の土地賣却代二萬三千圓が減つたが、十二年度中には鎌田町遊郭の敷地一千五百坪を賣却する事とし一萬五千圓を生み出して收支を償つた。この豫算は市制が施行されれば自然消滅となるものである戸數割は町民負擔を引上げぬやう前年同樣平均十八圓とした。

歳入 (△印減)

科目	十二年	前年度	比較
一、財産ヨリ生ズル收入	四五六	四五六	
二、使用料及手數料	二〇、八二五	一七、九八〇	二、八四五
三、水道工事費收入	六、四四二	五、三六八	一、〇七四
四、交付金	五、〇五六	四、一一〇	九四六
五、國庫下渡金	二八、五〇一	二八、四〇一	一〇〇
六、納付金	五	五	
七、就學奬勵金	二二〇	二〇六	一四
八、國庫補助金	三、七五四	二、九一四	八四〇
九、縣補助金	二、八三〇	一〇、三七九	△七、五四九
一〇、寄附金	二〇、〇一二	八、二二一	一一、七九一
一一、繰入金	三、〇〇〇		三、〇〇〇
一二、財産賣拂代	一五、五〇一	二五、六七三	△一〇、一七二
一三、繰越金	二二、〇〇〇	一六、一五〇	五、八五〇
一四、雜收入	一三、四三七	一〇、〇二〇	三、四一七
一五、町税	一五四、八五六	一五二、二四六	二、六一〇
一、地租附加税	八、七〇四	八、〇六四	六四〇
二、特別地税附加税	三〇	二三	七
三、營業收益税附加税	九、一九八	九、一九八	
四、鑛業税附加税	三〇	三〇	
五、縣税家屋税附加税	一五、一五〇	一五、一五〇	
六、縣税營業税附加税	七、六五〇	八、一〇〇	△四五〇
七、同雜種税附加税	二五、一六四	二三、六三一	一、五三三
八、特別税戸數割	八八、七〇四	八七、八〇四	九〇〇
一六、町債	八〇、〇〇〇	一一三、〇〇〇	△三三、〇〇〇
歳入合計	四六六、八八五	四八五、一一九	△一八、二三四

歳出 (經常部)

科目	十二年	前年度	比較
一、神社費	一六〇	一六〇	
二、會議費	二、一七五	二、二五〇	△七五
三、役場費	五一、〇二七	五〇、〇三八	九八九
四、土木費	一〇、一〇八	九、八九九	二〇九
五、小學校費	八四、二三三	八一、三六一	二、八七二
六、商業學校費	二七、八〇四	二七、二四四	五六〇
七、青年學校費	二、五九五	二、四三三	一六二
八、學事諸費	四二六	四〇六	二〇
九、トラホーム豫防費	五〇四	五〇四	
一〇、傳染病豫防費	一、〇六九	一、〇六九	
一一、害虫驅除豫防費	一〇五	一〇五	
一二、傳染病院費	三、七四二	三、七四二	
一三、汚物掃除費	六、五五三	六、五五三	
一四、水道費	一四、一四二	一二、七四〇	一、四〇二
一五、公園費	二、三一〇	二、四四五	△一三五
一六、火葬場費	一、二三八	一、〇一八	二二〇
一七、勸業費	一、三九〇	一、五三五	△一四五
一八、統計費	五三一	五三一	
一九、職業紹介所費	三、三六一	三、三二五	三六
二〇、社會事業費	三五〇	四〇〇	△五〇
二一、救護費	一、九八九	二、〇一七	△二八
二二、警備費	八、八二一	八、五三四	二八七
二三、徴發物輸送費	一	一	
二四、財産費	五六三	五六三	
二五、諸税負擔	二〇〇	二一一	△一一
二六、公金取扱費	五一〇	四九六	一四
二七、公會堂費	二〇		二〇
二八、雜支出	一、二五六	一九一	一、〇六五
二九、公債費	七二、〇四二	七三、四九三	△一、四五一
三〇、戻入金	一、六〇一	一、五五六	四五
三一、地方改良費	三、三〇〇	二、八五〇	四五〇
三二、豫備費	七、〇〇〇	六、一九二	八〇八
經常部計	三一一、二〇六	三〇三、八六二	七、三四四

歳出 (臨時部)

科目	十二年	前年度	比較
一、土木費	二三、六九[illegible]	二一、六八八	二、〇〇九
二、小學校費	四、九二二	四、八五六	六六
三、商業學校費	四一〇	一、七九〇	△一、三八〇
四、選擧公營費	五	五	
五、警備費	五、一二四	六、〇二八	△九〇四
六、傳染病院費	三〇〇	一、〇六〇	△七六〇
七、公園費	三〇〇		三〇〇
八、寄附金	九、一五九	一、一五四	八、〇〇五
九、補助金	三、〇三六	二、七九〇	二四六
一〇、市制施行費	一、〇〇〇	二、〇〇〇	△一、〇〇〇
一一、訴訟費	五	五	
一二、役場費	五〇〇	一、〇四二	△五四二
一三、水道費	一七、三〇三	一一、四〇二	五、九〇一
一四、都市計畫調査費	一、三七五	一、二九五	八〇
一五、土地拂下繼續費本年度支出額	一、三五〇	一、三五〇	
一六、商業學校敷地買收繼續費本年度支出額	一、四八三		一、四八三
一七、公會堂費	八〇〇		八〇〇
一八、商業學校建築費	八〇、〇〇〇		八〇、〇〇〇
一九、雜支出	二、九〇〇	四、〇六五	△一、一六五
(火葬場費)		七〇〇	△七〇〇
(小學校建築費)		三七、五二七	△三七、五二七
(商業學校調査費)		五〇〇	△五〇〇
(公會堂建築費)		八〇、〇〇〇	△八〇、〇〇〇
臨時部計	一五五、六七九	一八一、二五七	△二五、五七八
歳出合計	四六六、八八五	四八五、一一九	△一八、二三四

林野保護組合で 優良組員表彰

平署管内林野保護組合總會は十七日午前十時から平署會議室に開き左の事項を附議した。

注意事項

保安林保、護林野火入林野火災豫防、森林盜伐豫防警戒

協議事項

林野火災に際し組合並負傷したる場合の救護方に關する件(大利組合長大和田嘉男提出)

終つて左記優良組合員の表彰式を擧行した、尙ほ林野の火災は各關係方面の警戒によつて逐年減少し去る九、十、十一年度の統計によると九年には十二回の火災があつたのが十年には十一回十一年度には僅か三回に減つてゐる。

松原署の手配で 窃盜犯人逮捕

平署の大手柄

平署では茨城縣松原署の指命手配で十六日夜内郷村綴で窃盜犯人秋田縣山本郡八森村生れ漁夫村上喜之助(二九)を逮捕身柄を石川部長に引渡した。村上は茨城縣下を荒し廻つた上數日來内郷村綴に居る實母の下に潜伏してゐたものである。

集金を頼まれたと 五十圓を横領

内郷村小島生れ當時双葉郡川野村大字室原吉田庄司(四五)は去る十四日夜八時頃家主の吉田孝七方倉庫から醬油五升を窃取取調べの結果同部落積立金の集金方を孝七から依頼されたと稱し五十余圓を集め全部着服した事實も判明した。

乾繭組合 設立委員會

石城郡下乾繭販賣利用組合聯合會設立委員會は昨十六日午前十時から部會事務所に開き委員十名により之れが設定促進の協議をなした尙ほ双葉部會でも近く催ほすと、今後は四倉、植田兩繭市場を合併し乾繭組合の强化を圖る方針であると。

捨子の主 引續き搜索

平町白銀町鐵道官舍の巖箱の中に捨て子をした犯人に就いては平署では引續き各方面を搜索中であるが未だ被疑者も見つからず更に搜査中であるが嬰兒を貰ひうけた平町十五町目岡島夫妻は町役場で岡田ケイ子と命名一家を創立させる事とした。

鹿島村で 節婦表彰

鹿島村上矢田宇太郎作十七長瀬アキ(六一)同村母戸宇八合二三草野ヤス(六三)の兩女は去る十一日の紀元節に際し節婦として志賀村長から表彰されたが兩女共早く夫に死別以來子供の養育の傍公共團體に盡力したものである。

△運轉手試驗 本縣自動車運轉手並に就業免許試驗は來月二日から五日迄信夫郡渡利村蠶業農學校で行ひ學科試驗は六日午前九時から福島市公會堂で行ふ。就業地免許試驗は六日に行ふ。

△磐崎學藝會 磐崎村小學校では十六日午前九時から同校講堂で全兒童の學藝會を開いた。小名濱校では十六日午前十時から催ほし、終つて父兄會を開いた。

△兩警部補出福 平署齋藤司法、三林特高兩主任は十八日から三日間福島檢事局に開かれる縣下警察署司法特高主任會議に出席のため十七日出張した。

木炭店開業廣告

拙者製造の木炭は從來卸炭のみ致して居りましたが、今回左記に**小賣部を設置**致しましたから多少に拘はらず御用命下さい。

生産者から直接需要者に渡るものですから價格、品質、凡てに於て御德用と存じます。

電話六九四番へ

平町仲町　安藤商店　電話六九四番

和洋銅鐵金物問屋

久釜屋商店

諸橋久太郎　電話九九番

◉御知らせ◉

長唄を親切丁寧に教授致しますから希望の方は御出で下さい。

「子供さんも初心者も」

◇四倉町福田町一三一（額賀醫院向ヱ西）

長唄　杵屋正美

夜診　間療

胃腸　内科　胃腸病科

性病　花柳病科　性病科　泌尿器病科　皮膚科　肛門病科

專門

松村胃腸性病科醫院

平町南町（電一〇七番）

三井タクシー

平町二丁目　電話六八五番

魚清自慢のなべ料理

鯛ちり	五十錢	かきなべ	三十錢
鯛なべ	五十錢	ねぎまなべ	三十錢
鱈ちりなべ	三十錢	煮込なべ	三十錢
ちりなべ	三十錢	鳥なべ	三十五錢
はもなべ	三十錢	牛なべ	三十五錢
あんこはべ	三十錢	豚なべ	三十五錢
いかなべ	三十錢	吸なべ	三十五錢
よせなべ	三十錢		

えび天丼	三十錢
えびフライ	二十五錢
えび天ぷら	二十五錢
あんこともず	十五錢
かき酢	二十錢
かきラライ	二十錢

キントンあります

平二、警察署通り

魚清食堂

電話六三三

診療科目

一、齒科一般
保存科
補綴科
繼續架工科
齒列矯正科
小兒齒科
齒槽膿漏科

一、口腔外科

一、レントゲン科

◇看護婦至急募集

中野齒科醫院

院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠

平町田町（松月堂向）電話五〇九番

耳鼻咽喉科專門

鈴木醫院

醫學士　鈴木正男

（入院のお需に應ず自炊の便あり）

平町田町藤田女學校前（電話五八番）

◇三百年の歴史を有する

家傳靈藥　相馬ハンサキ

消食散

一名かげの藥

平町大町　代理店　丸龜商店　電話一三三番

互融會事業近況

一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奬勵
一、小資本金ノ相互融通

融通報告（昭和十二年自一月一日至一月卅一日）現在

會員數	六、一四二口
世帶數	四、一六四戸
積立金	五九・九四五・八一
融通數	一、三二二口
融通金額	八〇・一六三・一三
融通金回収高	一九・五四八・五〇

太平火災海上保險株式會社平中央代理店

石城中小商工互融會

事務所　福島縣平町搔槌小路一番地

小名濱方部　小名濱町古港
菊田方部　植田町臺町
湯本方部　湯本町天王崎
相双支部　原町東一番町

かまぼこ大製造

折詰仕出

お惣菜用さつま揚・吉原揚

平町一丁目

冬蔭寅

電話一四一番

國華ポマード颯爽たり

皆様の美容室『理髪東京』は『オールサービス』の滿全を期し國華ポマードを初め全部高級化粧品を使用し行屆いた技術と共に奉仕致して居ります。

帝國美容師會々員　東京國華會　バーバーチエン

理髪　東京

干やなぎ　いか切込の御注文は

是非**仙魚店**へ

美味…体裁優美は當店のモットーです

鰹節・塩辛　鮮魚仕出し

丸仙

電六六二番